

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	下水道使用料改定事務				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	水道環境部	課等名	水道業務課		包含する細々目	1	8	4	4	10	1		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり												
施策	45 居住基盤の向上												
実施区分	継続	会計	下水道	環境調整会議	不要	関連計画 条例等		改定「第4次飯田市下水道整備基本計画」					
		事業期間	年度～	年度									

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	下水道使用料(公共下水道・特定環境保全公共下水道事業・農業集落排水施設・小規模集合排水施設を含む)	使用料調停額	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
		現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	下水道事業における汚水処理に係る費用の使用料負担と一般会計負担の適正な均衡を図る	下水道事業全体の資本費算入率 * 資本費算入率: 施設維持ではなく建設など資本投資にまわる料金の割合	18目標	0.374	最終目標	
		下水道事業全体の一般会計からの基準外繰入金 * 繰入基準以外の歳入不足を補うもの	18実績		19目標	0.4
			23目標		23実績	
			18目標	763682	最終目標	
			18実績		19目標	700000
			23目標		23実績	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
		・下水道事業の財政計画期間を3年とし3年ごとに財政状況を勘案し使用料を見直す。 ・公共下水道・特定環境保全公共下水道事業・農業集落排水施設・小規模集合排水施設の4事業を全体として適正な下水道使用料を検証する。	・改定「第4次飯田市下水道整備基本計画」を策定し、議会等への報告する。 ・適正な下水道使用料の見直し案を作成し、審議会や議会等による審議を受ける。 ・条例改正による下水道料金の見直し決定を行い、広報等で周知を図る。	下水道使用料
・19年4月からの下水道料への見直しの反映する。 ・下水道使用料の改定の収入への反映と影響を検証する。 ・次回の改定の根拠となる事業費を確定させるために下水道整備基本計画の見直し準備を進める。			下水道使用料	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源		
	事業費計(A)	0	0
人件費	正規職員所要時間	18年度 600	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	2,146	0
	トータルコストA+B	2,146	0

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	下水道経営の安定化と健全化により皆水洗化の目的が達成される。	下水道普及率	現状値		19実績	
20実績				21実績		
22実績				23目標		
現状値				19実績		
20実績				21実績		
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
下水道事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道事業の推進と普及により下水道管渠や浄化センターの維持管理費と事業の財源として借り入れた起債の償還が増大している。</li> <li>これらの経費をまかなうために受益者の負担である使用料と受益者以外の負担も含めた税金での一般会計繰入金との均衡を図っていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の19年4月改定のための上下水道運営審議会の答申での付帯意見は次のとおりである。</li> <li>下水道整備済み地域内での接続の促進による収入確保や施設の効率的な運営による維持管理コストの縮減など企業努力をさらに進められたい。</li> <li>集合処理と個別処理の整備計画を見直すなかで、下水道使用料と合併浄化槽の維持管理費用との均衡を図るため、合併浄化槽の維持管理費用に対する補助制度を整備されたい。</li> <li>税金による公費と使用者による使用料の費用負担を、より透明で明確にするため企業会計の導入を早期に図られたい。</li> </ul>

## 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

## 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去の実績データの整理と精査</li> <li>過去データに基づく収支計画などのシミュレーションの実施と分析</li> </ul>
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がある	(2) 必要性な場合の実施事由	2- 活動、製品又はサービスの規模、実施方法などを変更又は廃止のとき
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道普及率の向上、水洗化率の向上は水質をはじめとする環境保全・改善に大きく影響する。</li> <li>節水による水道使用量の減を考慮した。</li> </ul>		

### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	